CASE 02｜発音の明瞭化・会話のやり取り

発音が不明瞭で聞き取りにくい 会話のやり取りが続かない

言い直しを叱らず、楽しい「口腔あそび」と「ごっこ遊びの交代」で伝わる言葉を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 幼児語や部分語が多く、家族以外に何を言っているか伝わりにくい
- 質問すると同じ言葉を繰り返す(オウム返し)になり会話が続かない
- 自分の好きなことだけを一方的に話し、お友だちとの対話にならない

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
お口周りの運動コントロールと「順番交代」が育つ途中です

明瞭な発音には唇・舌・呼吸の連動が必要です。またオウム返しは質問の意味を処理している途中のサインであり、視覚的な2択を添えると意味理解と応答がスムーズに進みます。

お子さまの話し方に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:質問でオウム返しや答えに詰まる時
「何して遊ぶ？」ではなく、実物やカードを見せながら『ブロックと絵本どっち？』と視覚的な2択で尋ねて自己表現を助けます。

■ B:発音が不明瞭・声が小さくて聞き取りにくい時
言い直しを強制せず、スタッフが口元を見せながら正しい発音で温かく復唱(リキャスト)し、話す意欲を守ります。

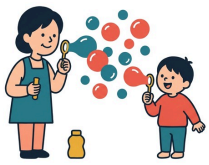
▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



口腔運動と語彙の途上
舌や唇の動きが未分化で、思いをすぐ言葉にするのが難しい段階です。

02 口腔機能



吹く・吸う・噛む遊び
シャボン玉・吹き戻し・咀嚼で、口唇と舌の筋力を楽しく育てます。

03 モデル提示



否定せずゆっくり復唱
言い間違いを否定せず、口元を見せて正しい語音を明瞭に返します。

04 育つ姿



ごっこ遊びで対話開花
「どうぞ」「ありがとう」と、お友だちや先生と楽しく対話できます。



実践① おままごと・お店屋さんでの対話
「これください・どうぞ」の往復練習
お人形やお店屋さんごっこを通じ、順番に話すルール(ターンテイキング)と2～3語文での表現を楽しく反復します。



実践② 口腔あそび＆よく噛む昼食・おやつ
吹く遊びとよく噛む食事で発声支援
息をコントロールする遊びと、温かい昼食・おやつをしっかり噛んで食べる習慣で、聞き取りやすい発音を支えます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お子さまが「ブーブー、あ！」と言った時、発音を直させるのではなく『うん、赤いブーブーが走ったね！』と1語足して笑顔で返す(拡大模倣)と自然に語彙が増えます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談